

[54] Title of the Utility Model: Dome Speaker

[11] Utility Model Unexamined Publication No. S60-37989

[43] Date of publication of application: March 15, 1985

[21] Application number: S58-130486

5 [22] Date of Filing: August 23, 1983

[72] Inventor: T. Ohmori

[71] Applicant: Onkyo Corporation

[51] Int.Cl.: H04R 1/22 1/02 1/30 9/06

10 [What is claimed is:]

1 A dome speaker comprising an equalizer for compensating high-region characteristics, wherein equalizer 1 is provided with screw portion 2 on the outer circumference, and speaker mounting board 3 is provided on the surface with screw portion 4, which is concentric with diaphragm 5, for coupling with the above screw portion 2; thereby, equalizer 1 is mounted on speaker mounting board 3 by screwing.

15 2 The dome speaker of claim 1, wherein equalizer 1 and/or speaker mounting board 3 is provided on the surface with indicator 6, 6' for indicating the relative location of equalizer 1 to diaphragm 5.

3 The dome speaker of claim 1, wherein speaker mounting board 3 is provided on the surface with a table showing frequency characteristics 7 that correspond to a relative location of equalizer 1 to diaphragm 5.

20

[Brief Description of the Drawings]

Fig. 1 is a cross sectional view, Fig. 2 is a perspective view of showing an exemplary embodiment of the present utility model. Fig. 3 shows a sound pressure frequency characteristics chart in the present embodiment.

25 [Reference Numerals]

1 Equalizer, 2 Screw portion of equalizer, 3 Speaker mounting board,

4 Screw portion of mounting board, 5 Diaphragm, 6, 6' Indicator

# 公開実用 昭和 60— 37989

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-37989

⑬ Int. Cl. 4

H 04 R

1/22

1/02

1/30

9/06

識別記号

H A A

1 0 4

H A A

庁内整理番号

7314-5D

A-7314-5D

7314-5D

6733-5D

⑭ 公開 昭和60年(1985)3月15日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 ドーム型スピーカー

⑯ 実 願 昭58-130486

⑰ 出 願 昭58(1983)8月23日

⑱ 考 案 者 大 森 達 哉 寝屋川市日新町2番1号 オンキヨー株式会社内  
⑲ 出 願 人 オンキヨー株式会社 寝屋川市日新町2番1号  
⑳ 代 理 人 弁理士 佐 富 彌太郎

## 明 細 書

## 1. 考案の名称

ドーム型スピーカー

## 2. 実用新案登録請求の範囲

1. 高域特性補正用イコライザを有するドーム型スピーカーにおいて、前記イコライザ(1)の外周にネジ部(2)を設け、スピーカー取付板(3)面上に、前記ネジ部(2)と螺合し、且つ振動板(5)と同心円となる如くネジ部(4)を設け、前記イコライザ(1)を螺合によりスピーカー取付板(3)に取付けたことを特徴とするドーム型スピーカー。

2. 前記イコライザ(1)、および、または前記スピーカー取付板(3)面上に、振動板(5)とイコライザ(1)との相対位置を表示する表示部(6)、(6)を有することを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のドーム型スピーカー。

3. 前記スピーカー取付板(3)面上に、振動板(5)とイコライザ(1)との相対位置に対応する周波数特性表(7)を表示したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載のドーム型スピーカー。

(1067)

### 3. 考案の詳細な説明

この考案は高域周波数特性を任意に調節し得るドーム型スピーカーに関する。

従来からドーム型スピーカーは高域の周波数特性を補正するために振動板前方に円板形、或はリング形等のイコライザを設置することが一般的に行われるが、ドーム型スピーカーが製品化された時点では、イコライザはスピーカー取付板に固定されているので、高域の周波数特性は一義的に決定されてしまい、調節できない欠点を有していた。

本考案はイコライザと振動板との相対距離を可変とし、スピーカー使用時にこの相対距離を適当に調節することにより高域周波数特性を、部屋の音響条件とか、好みに応じて任意に補正し得る如くにしたドーム型スピーカーに<sup>関</sup>する。



第1図、～第3図において、イコライザ1の最外周部にはネジ部2が設けられている。(図では環状立上り部の内壁に設けたが、外壁であってもよい。)取付板3には前記イコライザ1のネジ部

2 と螺合し得<sup>る</sup>ネジ部 4 が形成される。イコライザ 1 はスピーカー取付板 3 のネジ部 4 に螺合されて振動板 5 の前方に保持される。イコライザ 1 を回転させることによりイコライザ 1 と振動板 5 との間の距離が変化し、高域の周波数特性を第 3 図の如く補正することができる。特性 A、B、C および D は、それぞれ前記距離が 0.7 mm、1.5 mm、2.75 mm、および 4 mm の場合である。尚、スピーカーの振動板径は 25 mm、イコライザ部形状は内径 11 mm、幅 4.5 mm のリング状である。

第 2 図は本考案の一実施例で、イコライザ 1 と振動板 5 との距離を、イコライザ 1 の回転角で表示した表示部 6 をスピーカー取付板 3 面上に設けたものである。イコライザ 1 と振動板 5 間の距離とそれに対応する周波数特性を、スピーカースステムのバツフル板面上か、或はスピーカー取付板 3 前面に併記することにより、使用上非常に便利である。

以上本考案はイコライザと振動板との相対位置を可変とし、両者の間の距離を調節することによ

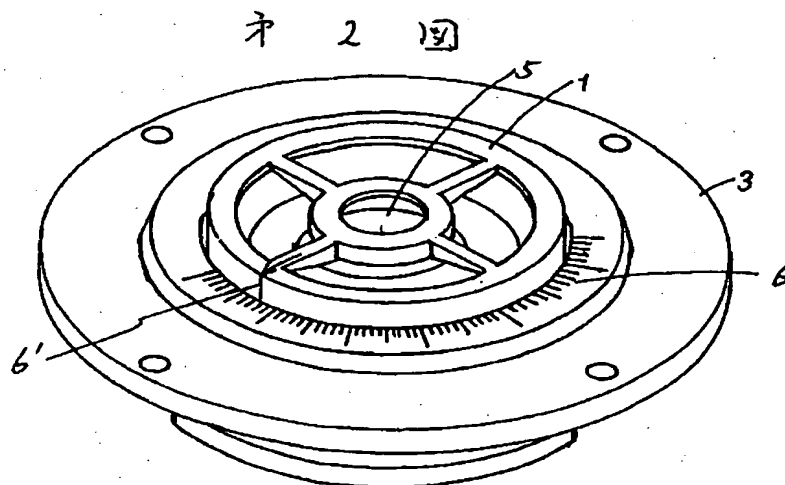
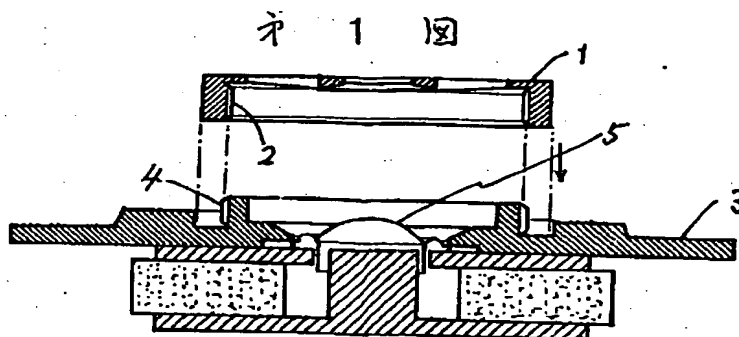
4

り高域周波数特性を補正し、補正された周波数特性を正確に認識し得<sup>る</sup>矛盾とくになしたドーム型スピーカーである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の断面図、第2図は本考案の一実施例の斜視図、第3図は本実施例の音圧周波数特性図である。

1はイコライザ、2はイコライザのネジ部、3はスピーカー取付板、4は取付板のネジ部、5は振動板、6、6'は表示部である。



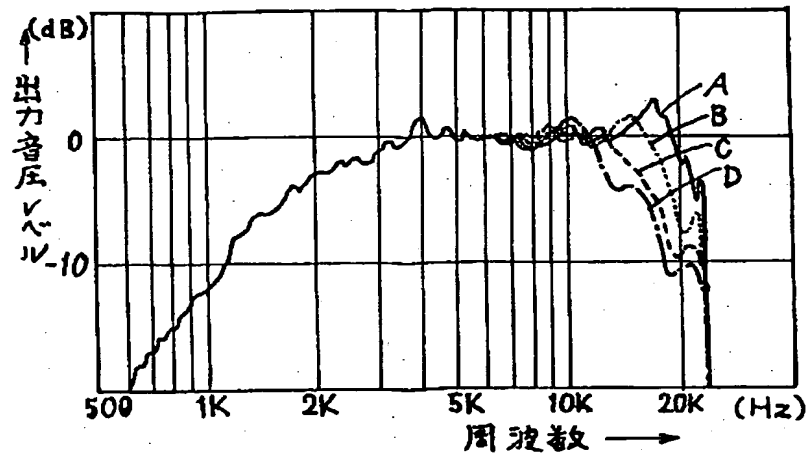
1071

実用新案登録出願人  
代理人 弁理士

オンキヨー株式会社  
佐 富 彌 太 郎

実開 60-37989 !

図 3



1072

実用新案登録出願人  
代理人 弁理士

オンキヨー株式会社  
佐 富 彌 太 郎

実開60: 37989